

# 応援します！家族責任を持つ女性研究者



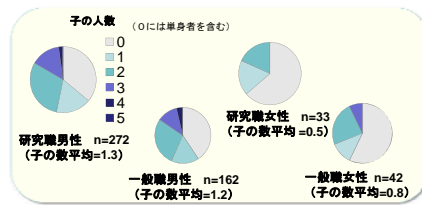
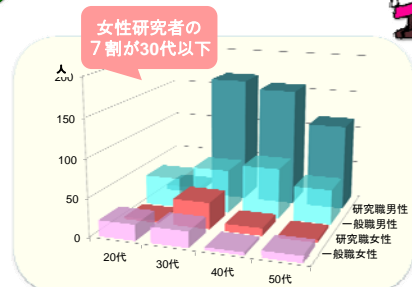
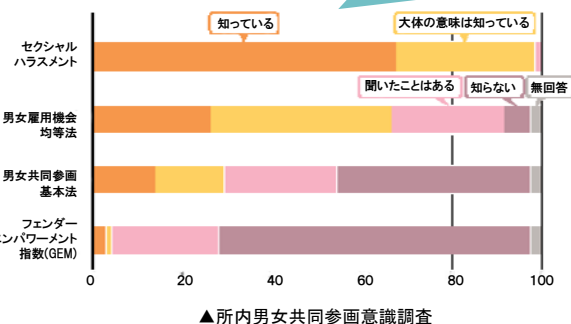
## 森林総合研究所 エンカレッジモデル FFPRI Encourage Model

森林総合研究所は、文部科学省科学技術振興調整費女性研究者支援モデル育成事業「応援します！家族責任を持つ女性研究者」（平成19～21年度）が採択されたのを契機に、男女共同参画室を新たに設置し、男女共同参画の推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指して、エンカレッジプログラムを進めています。



**職員構成**：研究職483(50)名(10%)、一般職827(86)名、技術専門職25名、計1335(136)名 (○内は女性)  
**沿革**：明治38年農商務省山林局林業試験場として目黒に発足、昭和53年つくばに移転、同63年森林総合研究所に名称変更、平成13年独立行政法人となる。同19年林木育種センターと統合、同20年森林農地整備センターを承継。

昨年のアンケートから、職場の男女共同参画に関する知識が十分でないことや、女性職員の子の数が少ないことがわかりました。



## 男女共同参画とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み

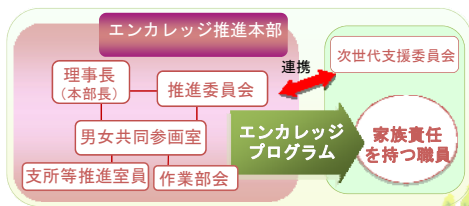
### 1. 推進体制の整備

#### 19、20年度実績

・実施体制の整備、**男女共同参画室の設置**、・支所等推進室員の配置

#### 今後の計画

・育児関連の各種制度のガイドブックの作成と周知、・裁量労働制(研究職)の導入



### 2. 育児・介護サポートシステムの整備

#### 19、20年度実績

(1) 保育サポートの検討

・一時預り保育室の運営と責任体制の整備  
 ・保育・介護等地域情報の収集・提供(HP)

(2) **育児・介護責任を持つ研究者に対する研究支援**

・PC・ソフトウェアの貸与、支援者雇用等  
 ・自宅からの文献複写等のマニュアル整備

▼平成19、20年度研究支援状況

#### 今後の計画

(1) 保育サポート体制

・**一時預り所内保育室の開設**(本所、関西支所 (Feb.09~))

・本所、関西支所以外の組織でのサポート体制の検討  
 ・保育・介護等地域情報の整備・提供(拡充)

(2) 育児・介護責任を持つ研究者に対する研究支援(継続)

	女性		男性		計
	育休	他	育休	他	
PC及び(又は)ソフトウェア	7	7	2	2	18
研究補助員の雇用・委託	6	5	1	2	14

### 3. IT環境の整備

#### 19、20年度実績

・**TV会議システムの導入**(本所一支部等間) 53回使用

・**Webミーティングシステムの導入**(研究所一自宅間) 13回使用

#### 今後の計画

・TV会議システムとWebミーティングシステムの整備と普及



▲TV会議による委員会



▲公開シンポジウム(2008.1.28)

### 4. 次世代研究者育成支援

#### 19、20年度実績

(1) 意識啓発(所内向け)

・男女共同参画意識調査・所内説明会・推進セミナー開催  
 ・所内職員研修に男女共同参画のレクチャーを新設(H20~)  
 ・産総研ダイバーシティサポートオフィスへの参画

(女性職員啓発セミナー、キャリアカウンセリング)

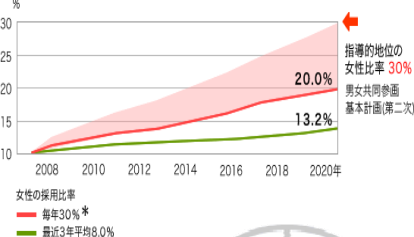
(2) 社会発信・公開シンポジウム開催 (09/1/28, 09/12/8) 他

(3) 次世代育成(他機関との交流と制度改善)

・他機関への訪問 (エンカレッジモデルの広報、見学・情報交換)  
 ・採用公募書類に「**家族責任による研究中断期間の経歴**」の明記を追加(H20~)

#### 今後の計画

・意識調査集約・報告書の作成



## エンカレッジプログラムの達成目標(ミッションステートメント)

○裁量労働制の導入(研究職)

○出張・転勤、緊急時のサポート体制の100%整備(本支所)

○IT環境の100%整備(本~支所間、研究所~自宅間)

○応募者・採用者の女性比率を30%に(関連大学的女子学生比率と同等に) ○家族責任が原因となる中途退職者ゼロに

お問い合わせ



男女共同参画室

Gender Equality Office

TEL 029-829-8360, FAX 029-874-8507

E-Mail geneq@ffpri.affrc.go.jp URL: http://encr.ffpri.affrc.go.jp/



ワーク・ライフバランスを確立し、魅力あふれる研究所をめざします！ 2008